

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

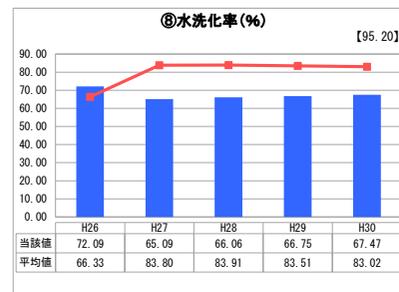
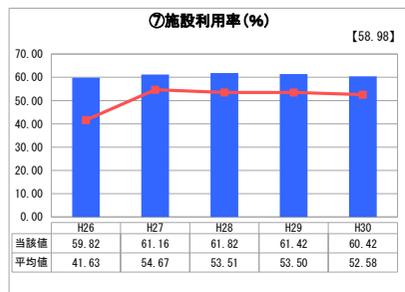
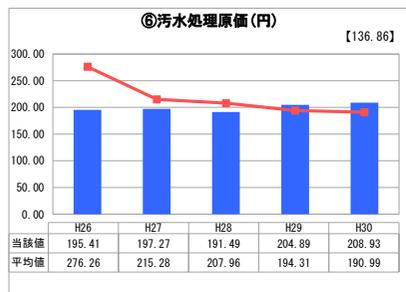
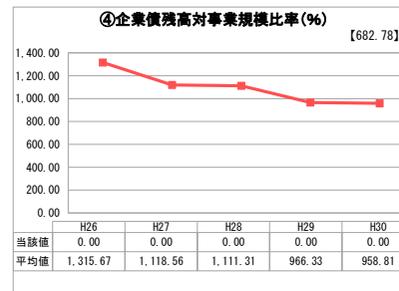
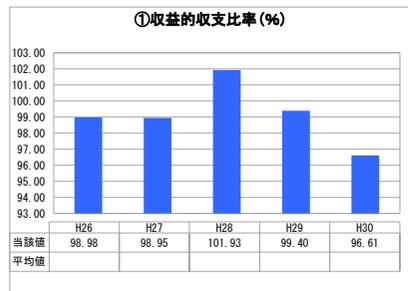
岐阜県 養老町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	23.65	75.84	3,610

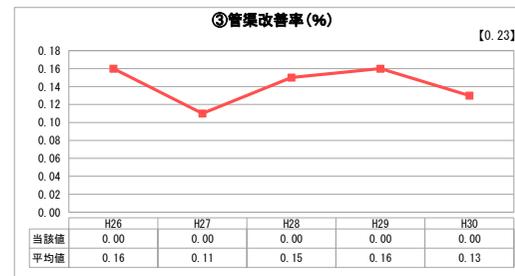
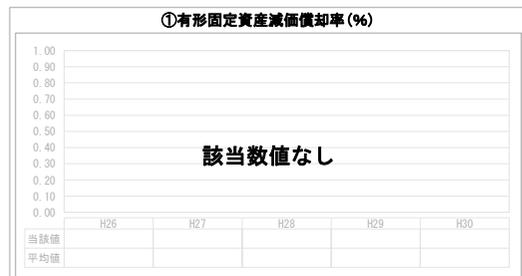
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
29,121	72.29	402.84
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,840	2.32	2,948.28

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経営状況は、昨年と比べてもあまり改善されておらず、今年度も収益的収支比率は100%以下で単年度の収支は赤字を示しています。経費回収率についても100%を下回っていて、平成30年8月から使用料を改定したのですが汚水処理に係る経費を使用料収入で賄えておらず、不足分については一般会計からの繰入で補填している状況です。また、企業債残高対事業規模比率が0となっているのは、全額を一般会計からの繰入で負担しているためであり、一般会計からの繰入に依存せざるを得ない状況となっています。施設利用率は、類似団体と比べて高いものの、水洗化率については人口減少や少子高齢化などの要因で伸び悩んでいます。また、汚水処理原価が増加したのは、処理場管理費用の増加が原因と考えられ、維持管理費の削減や接続率の向上に取り組んでいく必要があります。

### 2. 老朽化の状況について

管渠については、耐用年数を超えたものがないため、当面は更新の必要性はありませんが、中部浄化センターの電気設備等については、長寿命化計画に基づいた更新と修繕を行っていきます。

### 全体総括

現状は、健全な経営とは言いがたく、経営改善を図っていく必要があります。そのため、経費削減への取り組みや下水道への未接続世帯に対する戸別訪問を継続するなど水洗化率向上に取り組んでいきます。また、平成28年度に策定した経営戦略を基に健全経営となるよう努めていきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。